

安城七夕まつり

夢

よふ

星

まつり

安城七夕まつりが始まって、今年で50年。8月1日～3日の3日間、記念行事を織り交ぜ、第50回安城七夕まつりが市街地周辺で盛大に開催されました。今年のまつりの様子を写真でお伝えするとともに、半世紀にわたる歴史を簡単に振り返りながら、今のまつりを支え、盛り上げる人々に焦点を当て、皆さんにご紹介します。



商店街の夏枯れ対策から始まった七夕まつり

農業中心だった安城のまちづくりを考えるうえで、商業の振興もなくてはならないものと考えられるようになってきた昭和20年代。昭和25年には拠点施設となる安城商工館が建設され、商店主たちはそこで様々な話し合いをするようになりました。各店連合の売り出しを始めたのも、集まった商店主たちのアイデアからでした。昭和29年、本町の商店主た

ちは、夏の暑い盛りには買い物客が少なくなるため、売り上げが落ちるのをくい止められないかと考えていました。そんなときに耳にしたのが仙台や平塚の七夕まつりの盛り上がり。本町には津島神社の夏祭りがある。それを基にして七夕まつりを開催できないだろうか」と考えた商店主たち。さっそく同年7月に、前年から始まっていた静岡県清水市の七夕まつりを視察し、七夕飾りの作り方などを学ぶことができました。当初は本町だけの動きでしたが、話を聞いて栄町や御幸町も加わり、わずか1

か月足らずで南明治地区全体にまつり開催の機運が。そして、同年8月3日～5日に、第1回の安城七夕まつりが開催されたのです。

七夕まつりの発展 日本三大七夕へ

すばらしい七夕飾りが評判を呼び、昭和31年の第3回は来場者が30万人に。また、昭和47年には市制施行20周年を記念し、「アンジヨハンジヨの〜」の歌詞でおなじみの「安城七夕音頭」が作られ、市をあげてのお祭りとしての色あいも強くなってきました。そして、昭和50年代前半までは30万～60万人が毎年訪れるようになりました。

そんな安定期を迎えていた昭和53年、安城七夕まつりにとって、大きな転機となる出来事がありました。東京で行われた「日本商工会議所100周年全国郷土祭」で、仙台、平塚と並び、日本三大七夕の一つとして認められたのです。翌年のPRポスターからは、「日本三大七夕」の文字が登場。その後、来場者数も急激に増えていきました。そして、平成2年の第37回

には、来場者数がついに100万人を突破。三河の夏を彩る代表的なまつりとして、発展してきました。平成4年には、シンガーソングライターの南こうせつさんに作曲と歌をお願いし、「星空のラブソング」を作成。新しい七夕まつりのイメージソングとして定着しています。

50回目の七夕まつりに過去最高の127万人が

そして迎えた今年の第50回安城七夕まつり。全国の主な七夕開催地の代表を招いての「全国七夕サミット」や、たくさんのおみやげや山車が練り歩く「まつりパレード」などの記念行事も開催。また、まつりの盛り上がりには欠かせないものとなりつつあるダンスの祭典「Dan Spoo ANJO」や各種パレードなども行われ、七夕まつり史上最高の127万人の人数を記録して幕を閉じました。全国的な七夕まつりブームの中、商店街振興の催しとして始まった安城七夕まつりも、開催から半世紀を経て、市内最大のイベントとして大きく成長してきました。



風にたなびく色とりどりの七夕飾り。活躍中のアメリカメジャーリーグの飾りも登場



みこしや山車がまちを練り歩いたまつりパレード



全国から10団体が集った「全国七夕サミット」。海洋冒険家の堀江謙一氏の講演の後、各地の現状課題に対する意見交換会が行われた。また、会に先立ち、民踊を通じて長年七夕まつりの発展に尽くした佐野豊麗さん、すばらしい飾りで長年観客を魅了し続けた元榎高木屋の石原精二さんへ特別表彰状が授与された



H15

現在の末広町北交差点付近の様子。写真左側には碧海信用金庫があるのがわかります



H15



S33

ミス七夕コンテストの様子。きれいな女性ばかりなのは今も昔も変わりません。なお、今年は、ミス七夕史上初めて、車いす使用者の稲垣幸恵さんがミスの一人として選ばれ、大役を果たしました



不詳



H15



S31

パレードをするミス七夕の皆さん。現在はオープンカーですが、昭和31年はよく見るとジープです



H15



S32



S30



H15

花ノ木商店街の様子。大きなたこが宙に踊るユニークな飾りが目を引きます



H15

現在の御幸本町交差点からJR安城駅方向の様子。都市改造により道路幅が広がったことがわかります

平成15年度 飾り付けコンクール入賞者

1日の夜に行われた審査の結果、次の皆さんが上位に入賞しました。 <敬称略>

【飾り付け大賞】丸長

【特選】(株)北城屋、八宝亭

【準特選】(株)OKハウジング、(有)吉野屋、(有)両口屋菓匠、(有)ナカガワモーターズ、安城スピーチクラブ、(有)福田屋家具店

【入選】(株)玉木屋、(有)ビューティーカンパニーコスメスピリット、ベル商店、(株)祝屋、(株)ヒカリ堂、朝日町二十日会、和菓子処櫻屋、(有)昭栄カメラ、江村電機、小林時計店、(株)築本屋、大野屋、(株)金魚屋、一斗(有)、御菓子司栞見屋、(有)美光社

丸長さんの飾り



北城屋さんの飾り



八宝亭さんの飾り



昭和34年に出された高木屋靴店の大きな仕掛けもの。通算で28回県知事賞(最高賞)を受賞するなど、毎年、すばらしい仕掛け飾りで観客を魅了し続けた

懐かしいなあ...

昭和30年代前半と現在の様子を比べてみました。ほぼ50年前の街並みにも注目してご覧ください。

